





四月廿一日祭

セラビニア・ダ・シナ・サンビ

が葡萄王の統帥權を離れて獨立

した。

その獨立の聲を大にした勇士

リュゼ・ジオア・キンダ・シルバ、

彼は其當時歯醫者の職業であ

つた、今日の様に歯科醫をデン

チスターと呼ばばすに、當時は歯科

と呼んだものであつた。

セラビニアは、當局の忌諱によ

れ捕らねられ、公衆の面前にて

懲罰の刑をうけた。

モボリタニズムになりかけて居

る人々には、國士的氣品はのみ

認められてゐる。

伯人にも國士的氣品ののみで

認められる。

めぬ連中が如何に多い事か。

それで、本植民も第二世のニス

の命日だと、ねて居る。

然し日本植民も第二世のニス

の命日だと、ねて居る。

日本植民第一世人には國士的節

操が如何なる秋晴烈日を味喰

てゐる。

伯人にも國士的氣品ののみで

認められる。

めぬ連中が如何に多い事か。

それで、本植民も第二世のニス

の命日だと、ねて居る。</p

